

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域生活の継続支援と、事業所と地域の関係性強化をふまえた理念である様に取り組んでいる。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ご利用者のケアをしていく中で職員全体でミーティングを通して、理念を基に話し合いを持ち意思統一を図る努力をしている。	○
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ご家族の方には訪問時やホーム便り等、折に触れ報告している。地域の方には訪問時や3ヶ月に1回の運営推進会議等を通し報告している。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地元の職員の声かけにより少しずつ交流を深める努力をしている。隣所の方はたびたび野菜を届けて下さったり見学をされたり、ホーム周りの草刈などをして下さる。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に入会している。5月の春祭りに当ホームに寄って下さったり、7月の当ホームの運動会にも地域の子供達の参加も多数あったりと、徐々に交流も盛んになっている。	○
			今後も行事があった場合は声をかけ、気軽に入出入り出来る場としていきたい。

岐阜県. グループホームしましまハウス河合

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>地元の老人の方が気軽に出入りできる施設としていきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>開所したばかりで評価自体についても全員が理解できていないので、そのこと自体・内容について小ミーティングや折に触れ理解を深めていきたい。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		<p>市町村担当者ととの交流を今後は多く持ちたい。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>大切な事なので今後学習会をする必要があります。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p>		<p>日常介護の中での言葉かけ、ベッド棚など現場で「虐待・拘束に気をつけて」とすぐ注意喚起しているが、認識の中に入っていない部分もあると思われるので更に防止に努めていく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分時間を取り重要事項説明書や運営規定を基に説明をし、家族の理解・納得を図っている。	○	契約時、時間をかけてお話ししたつもりでも十分理解されていない事もあり、面会時やケアプラン署名時にも不安点等聞くように努めている。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者本位の運営を心がけているが中々難しい面もあり、徐々に反映できる様に努力している。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族の訪問時や、ホーム便りや電話・ファックスを利用したりして報告している。訪問時に写真も見てもらったりしている。ケアマネも介護サービス計画書を送付と共に報告している。	○	家族の行事参加（例えば誕生日会等）にも声かけをしたい。家族の状況に応じファックスも利用している。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族には訪問時、運営推進会議等で問いかけて何でも言ってもらえる雰囲気作りができている様に努力している。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1ヶ月に1回はミーティングやケア会議を行う様にしている。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入浴の介助や畑作り・収穫作業の介助、または手先を使った物作りなど利用者の状態やペースに合わせたローテーションは組まれている。		

岐阜県. グループホームしましまハウス河合

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	今のところはないが、異動等ない様配慮する必要がある。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の内容が届いたら順番に参加する様にしている。又、研修の報告はコピーしたり、全職員が閲覧できる様にしている。	○	なるべく多くの職員が研修を受けられる様にしたい。ホーム内でも小ミーティングを利用し水平展開に努めている。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2ヶ月に1回飛騨市・高山市・下呂市のグループホームケアマネ会議で交流を持ち勉強会を行っている。又、介護サービス事業者連絡会に3ホームの代表に出てもらっている。それ以外にも他ホームの推進会議にも参加させて頂いている。	○	今後も多くの交流を持てる様に努力したい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日常や休憩時間（ご利用者さんとおやつを食べる時間）に職員のストレスや悩みを把握する様に努めている。	○	行き詰まっていると思われる場面では交替したり、その場を離れて落ち着くよう職員に促したりしている。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	本人の意向を重視しながら職場内で活かせる労働環境づくりに努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談があった時必ず本人に会って状況を把握し、職員が本人に受け入れられる様な関係作りに努めている。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族が求めているものを理解し事業所としてどの位対応できるかを、家族と事前に話し合いをする様にしている。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談に来られた全てのニーズを抱え込むことなく、地域のケアマネージャー等と連携をしながら改善に向けた支援や相談を受けながら必要なサービスにつなげる様にしている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人とご家族が事業所見学から始め、職員が自宅を訪問し本人と交流を持ち本人が納得の上、体験入所・仮入所と進めていき本人に安心感を持たせる雰囲気を作る様に家族等と相談しながら工夫している。	○	問題が生じない様に家族等と十分に話し合いながら、本人と家族にあった個別の利用開始の調整をしていく必要性があります。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人と接していく中で本人の思い、不安や喜び等を知ることに努め、共に生活していく中で共に支え合える関係作りができる様に努めている。	○	ケアプランにも組み込み、役割としてやっていただきながら職員はお礼や、頼りにしている旨・意志を表わす様に心掛けている。

岐阜県. グループホームしましまハウス河合

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者の様子や職員の思いを細かく伝える事により、家族との意志を統一し本人を支えていく為の協力関係を作っている様に努めている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	外出時には共に食事をしたり行事に際しご家族にお声をかけたり、家族とのふれあいを通じてより良い関係の継続に努めている。	○	誕生日会等への参加を、お声かけや手紙を通して行う様にしたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域に暮らす馴染みの知人・友人の方に当ホームへ気軽に来て下さるよう、継続的な交流ができる様に働きかけている。	○	本人が知人・友人に会いに行ったりできるよう、家族の方になるべく外出の機会を作って下さる様に働きかけたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	個別に話を聞いたり相談に乗ったり、皆で楽しく過ごす時間や仲の良いご利用者同士で過ごせる場面作りをする等、職員が調整しながら支援している。	○	ささげの豆取りや山菜のわた取り、じゃがいもの皮むき等ご利用者さまが気軽に参加できる作業をしてもらう様に働きかける。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービスが終了すると話す機会が遠のいてしまいますが、外で出逢った時には気軽に声をかけたりして可能な限り今後も働きかける様に努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の生活の中で何気なく話される言葉を聞き止めたり、折に触れ聞き取る様に努めている。又、誕生日会等自分を精一杯表わそうとされる時の言葉も重要と受け止めておく。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	H. 19. 11に開所よりホーム全体がうまく運営できていく様に、順々に入所される方々がうまく共同生活ができる様にとの思いが強くて、これまでの暮らしの把握には十分に力が注げなかった。	○ 少し余裕が出てきたので、ご家族にも聞いたり初回訪問時にも暮らしの場を見せて頂いたり、又、担当のケアマネージャーからも、もっと情報を得たりしていきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	1人1人の1日の暮らし振り言動等を、午前・午後・夜間の記録からも把握したり、表情や面会時ご家族の受けられた印象等も参考にして把握に努めている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	本人にお尋ねしたり面会時ご家族より話を聞いたりしている。又、1ヶ月に1回以上行っているモニタリングを参考にしたりしている。	○ 開所して10ヶ月余りであるがスタッフもようやく慣れ、日々介護の中で発見したりする部分もある。スタッフ、ご本人とご家族の希望、ホームの理念等全てを反映できる様に今後も努めていきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	往診をして下さる先生に時間を作って頂き、可能であればご家族に来て頂いたりしている。変化をご家族に報告して今後の相談をしたりしてご本人にふさわしい計画の作成に努めている。	○ 介護サービス計画書に即記入、追加部分が遅れがちなのでその部分をしっかり計画書にも反映していける様に取り組みたい。

岐阜県. グループホームしましまハウス河合

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	午前・午後・夜間の記録から職員の気づきを把握したり、もっと詳しく報告したいスペースを設け記入してもらい計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族による予約受診、2週間に1回の往診以外に必要時緊急受診介助を行っている。お盆には職員に住職がいるのでお盆のおつとめをして心の安らぎにつなげている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	開所時より地域の民生委員さんの協力を得たり、しましま3ホーム合同の運動会ではPTA会長さん、地域の小学生の皆さんの協力を得て行なう事が出来ました。又、駐在所・ホーム近隣の方にも協働了解を得ている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のホームの運営推進会議に参加させていただき情報を得たりより良いサービスの提供に努めている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在は実地指導を通じ個別のケースの内容を深めたより良いケアプランの立て方等指導を受けている。		

岐阜県. グループホームしましまハウス河合

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	○	往診以外にご利用者が体調不良時に電話にて報告し指示を受けたりご家族の了解の基、看護師が主治医に直接受診に介助も行っている。
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	これまでの暮らしの継続性が損なわれない様に、家族及び以前のケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行う等のきめ細かな連携が取れる様に心掛けている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ご利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底を図っているが、問題が生じた場合はミーティング等で十分話し合い意志の統一を図る様にしている。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご利用者に合わせて声かけをしたり職員が決めた事を押しつけることなく、なるべく自分で決められる場を作る様に支援している。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1人1人の体調に配慮し、その日の本人の気持ちを尊重して、出来るだけ個別性を重視したケアを行っている。	○	ご利用者1人1人のペースを守りながら日々の中で職員同士が工夫できる努力をしていきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	なるべく本人の望む理容・美容が良いと思えますが職員の中に理容師がおりますので、本人のご希望や特別な事情がない限りこちらの理容師にさせていただきます。		

岐阜県 グループホームしましまハウス河合

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>畑はご利用者全員と職員で行っている。自分達が作った物を食べる事が出来る、出来ないに関係なく満足感が生まれている。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>ご利用者の希望も聞きながら考えていく必要があります。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	<p>今後眠剤以外の配慮も考えていく必要があります。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	<p>ご利用者とのコミュニケーションの中から見つけ出す努力をしている。</p>

岐阜県 グループホームしましまハウス河合

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	少額のお金を所持してみえるご利用者もおられるが、ご家族の協力を得てほとんどが事業所で管理出来ている。	○	少人数の買い物を今後計画したい。家族とご一緒に買い物を事業所からもお願いしたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	事業所の外の広い運動場で散歩もでき、畑もあります。見学でき、又作業中休憩できるよう長椅子を設置しています。なるべく全ご利用者の心身の活性につながる様に支援している。	○	外食や弁当持参は中々難しいので、春の涼しい時期には外でテーブルを囲み昼食を食べたりおやつを食べたりしました。又、涼しくなったら同様の機会を持つ予定です。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご利用者本人の思いや願いに耳を傾ける様にしておりますが、場合によってはご家族に協力を依頼することもあります。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族からの電話が入った時はなるべく本人と話をしてもらう様に代わったり、電話不可の場合はファックスを利用し本人に自分の意志を伝えるご家族もみえます。	○	なるべく手紙のやり取りが出来る様にしたい。2人のご利用者に日記を書く様をお願いしている。書いていただくには職員の働きかけ（声かけ等）が必要です。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	他のご利用者に気兼ねなく過ごしていただける様に娯楽室を設けてあり、会話をしたりお茶を飲んだり一緒に食事を摂ったりと心地の良い空間作りに心掛けている。	○	ご家族との写真撮影をしたりして、ご本人が面会にみえたことを忘れていても撮った写真を見て思い出せる様にしている。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティングや日々の申し送り時にその日のケアを振り返り、身体拘束が行われていないか確認している。	○	全職員が身体拘束に値する行為を理解出来る様に今後勉強会を開く予定です。

岐阜県 グループホームしましまハウス河合

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

岐阜県. グループホームしましまハウス河合


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	ご利用者のリスクについてはケアマネが、職員全体での話し合いの結果をご家族に報告し理解してもらっている。又、面会時にも職員がご家族との会話を通し報告している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	些細な表情や体調の変化も見逃さない様、早期発見に努めている。変化等に気付いた時はかかり付け医・責任者に報告し指示を受け対応にあたっている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋のコピーを各ご利用者のケースに入れている。毎日の日誌に薬の簡単な説明を記入している。薬は板に貼り付けて職員全員が解かる様になっている。	○	全職員が薬の目的や副作用等を把握出来る様にまとめていく方向で進めている。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	ご利用者ごとに排便チェックをしている。中にはかなり便秘の方が見え色々な対策を考じております。現在はイージーファイバーとシンラックの併用を行い徐々に改善している。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	1日3回実施している。食後に声かけし出来る限りご自分でされるように必要に応じて職員が見守り、介助をする様にしている。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量は毎食ごとにチェック表に記入している。1日800~1000mlを目安に現在はキーパーやペットボトルに麦茶を用意して水分補給が出来る様にしている。		

岐阜県. グループホームしましまハウス河合

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	ご利用者、職員全員が各自ハンカチを持参している。更に手洗い後のアルコール消毒も行っている。インフルエンザの予防接種（11～12月施行）		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用器具の消毒（まな板・ふきんは毎日行っている。）食材は生鮮食品は宅配で他はAコープで使う分のみ注文し、買いだめは一切しない様になっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関入り口に車椅子の方、手押車の方、杖歩行の方に配慮したスロープを設けており安心して出入りが出来ます。又、外で休めるようすぐ横にベンチを設置して暑い時でもパラソルが立てられる様になっている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を味わえる様に工夫している。（菖蒲湯・節分・ひな祭り等）		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	娯楽室にソファを置いて家族との面会等でくつろげる空間づくり。廊下に花を飾り、壁にはご利用者の写真等を飾って楽しんでもらえる様に。又、廊下に椅子を置いて気軽に休める場を、仲の良いご利用者のくつろぎの場を提供出来る様に工夫している。		

岐阜県. グループホームしましまハウス河合

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自分が以前親しんだ日用品を持参されたご利用者さんは少ないようです。写真を持参された方はお見えになりましたが、ご本人が写真立てを壊された為に今後危険と判断しご家族にお返ししました。	○	ご本人の意向を確認しながら職員がその人らしい居心地の良い居室作りに取り組んでいきたい。
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気は必ず行なっている。温度の調節も確認をしている。(夏は冷房、冬は暖房) トイレは悪臭のない様に気を付けている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者の状態に合わせて手すり・浴室等の居住環境が適しているかミーティング等で話し合い、安全確保と自立への配慮をしている。	○	現在、入浴出来ずシャワー浴のご利用者がみえるが冬場の対策を早目に考慮していく必要があります。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	難しい問題であるがその時の状態によりその都度職員間で話し合いを持ち、本人の不安を取り除き力を取り戻せるよう、働きかける様にしている。		
87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭に花を植えている。畑も作り玄関先にベンチを置き、外気浴、おやつを食べたり語ったり、車椅子・手押車・杖の方もスロープを利用して外へ出る事も出来、ご利用者が日常的に楽しんで活動が出来る環境作りをしている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県 グループホームしましまハウス河合

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

河合のしましまハウスの周辺は山菜も多いので季節になると山菜を職員と採りに行ったり、又行くことが出来ないご利用者には穂を取ったり、根を取ったりして作業には皆さんに参加していただく様にしています。畑も作り野菜はここで採れたものも調理しています。ご利用者の部屋の窓を開けると朝顔が見える様にしています。景色も全てのご利用者の窓から見え環境にも恵まれています。広い長い廊下があり室内での歩行練習もできリハビリにも最適です。体育館も横にあり7月にしましまハウス合同運動会を行いました。開所後9ヶ月が過ぎましたが徐々に地元の小中学校生徒さんや地域の方々が気軽に立ち寄れる事業所にしていきたいと思ひます。